

## 平成30年度予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
9	5	8	歴史まちづくり総務費	194

部局名	教育部
課名	歴史まちづくり課

### I : 事業概要

施策事業名	文化財保護																		
事業目的	適切な保護措置の講じられた文化財の活用を推進し、観光の活性化を通じた交流人口の増加を図る。																		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 事業の全体計画                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文化財保護審議会の運営や各地の事例研究により市内文化財の適切な保護・管理を行い、活用を図る。</li> <li>・ 文化財関連セミナーの開催等により文化財愛護精神の醸成を促進する。</li> </ul> </li> <li>● 主な事業内容                             <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 80%;"></td> <td style="text-align: right;">内訳(積算)</td> </tr> <tr> <td>・ 文化財保護審議会の運営</td> <td style="text-align: right;">87千円 (7200円×6名×2回)</td> </tr> <tr> <td>・ 市内の文化財の保護及び活用</td> <td style="text-align: right;">72千円</td> </tr> <tr> <td>  試掘調査実施</td> <td style="text-align: right;">240千円 (維持管理20,000円×12カ月)</td> </tr> <tr> <td>  国指定天然記念物ヒトツバタゴ自生地維持管理</td> <td style="text-align: right;">157千円 (ヒトツバタゴ92,340円</td> </tr> <tr> <td>  妙感寺古墳等の除草</td> <td style="text-align: right;">+妙感寺63,861円)</td> </tr> <tr> <td>  磨墨塚史跡公園、羽黒城址西口広場の維持管理</td> <td style="text-align: right;">39千円 (水道料金、電気料金)</td> </tr> <tr> <td>・ 史跡整備市町村協議会等への参加</td> <td style="text-align: right;">65千円</td> </tr> <tr> <td>・ 文化財関連市民団体の支援</td> <td style="text-align: right;">30千円 等</td> </tr> </table> </li> <li>● その他                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の実施に至った経緯 市内に多く存在する文化財の維持管理や周知・活用、財源確保に向けた陳情活動等を実施。</li> <li>・ 予測される効果 市内の文化財を適切に維持管理・活用することで、後世に正しく残すとともに、市民の文化財に対する意識を醸成することが可能である。また、財源確保に向けた陳情活動を実施することで、文化財保護に係る国や県などの財政的な支援を受けることができている。</li> </ul> </li> <li>● 将来にわたって必要な経費                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文化財保護、管理及び活用に係る事務 3,000千円/毎年</li> </ul> </li> </ul>		内訳(積算)	・ 文化財保護審議会の運営	87千円 (7200円×6名×2回)	・ 市内の文化財の保護及び活用	72千円	試掘調査実施	240千円 (維持管理20,000円×12カ月)	国指定天然記念物ヒトツバタゴ自生地維持管理	157千円 (ヒトツバタゴ92,340円	妙感寺古墳等の除草	+妙感寺63,861円)	磨墨塚史跡公園、羽黒城址西口広場の維持管理	39千円 (水道料金、電気料金)	・ 史跡整備市町村協議会等への参加	65千円	・ 文化財関連市民団体の支援	30千円 等
	内訳(積算)																		
・ 文化財保護審議会の運営	87千円 (7200円×6名×2回)																		
・ 市内の文化財の保護及び活用	72千円																		
試掘調査実施	240千円 (維持管理20,000円×12カ月)																		
国指定天然記念物ヒトツバタゴ自生地維持管理	157千円 (ヒトツバタゴ92,340円																		
妙感寺古墳等の除草	+妙感寺63,861円)																		
磨墨塚史跡公園、羽黒城址西口広場の維持管理	39千円 (水道料金、電気料金)																		
・ 史跡整備市町村協議会等への参加	65千円																		
・ 文化財関連市民団体の支援	30千円 等																		
事業の 目標・計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 事業の目標 犬山に残る貴重な文化財を後世に正しく残すために文化財の適切な維持管理を実施する。また、文化財に対する市民意識を醸成することで、行政だけでなく、地域と一体となって文化財を保護することが可能となる。</li> <li>■ 事業の計画 文化財の適切な維持管理、公開活用を実施する。(継続実施) 財源確保に向けた陳情活動を実施する。(継続実施)</li> </ul>																		

### II : 個別事業内訳

(単位: 千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源 の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
文化財保護一般業務	1,130	0	0	186	944	84%
文化財維持管理	1,719	0	0	1	1,718	100%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	2,849	0	0	187	2,662	93%

## 平成30年度予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
9	5	8	歴史まちづくり総務費	194

部局名	教育部
課名	歴史まちづくり課

### I：事業概要

施策事業名	歴史まちづくり
事業目的	文化財・歴史的資源の保護・活用を行うことにより当市の歴史的風致の維持向上を図りながら歴史まちづくりを推進する。また、より効果的な歴史的風致の維持向上のために補助制度の活用や重点区域の設定、計画の見直し等随時を行う。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 全体計画                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「歴史まちづくり法」に基づき国より認定された「犬山市歴史的風致維持向上計画」によって、事業を推進する。</li> </ul> </li> <li>● 主な事業内容                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史まちづくり協議会を開催し、「犬山市歴史的風致維持向上計画」の計画の進捗管理や評価及び変更が生じた内容の計画変更等の協議を実施。</li> <li>・歴史まちづくり協議会専門部会を開催し、犬山城下町における歴史まちづくりに必要となる専門的な議論や施策の調整・確認を実施。</li> <li>・市内の維持及び向上すべき歴史的風致を、随時調査を実施しその成果報告を公表していくことで、歴史的価値を内容の情報発信を図る。</li> <li>・歴史的風致を活かしたまちづくりにかかる情報交換のための会議・研修等に積極的に参加する。(第7回中部歴史まちづくりサミット・歴史的景観都市協議会等)</li> </ul> </li> </ul>
事業の目標・計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 歴史的風致維持向上計画の最終評価・第二期認定 計画の最終年度であるため、最終評価を進めると同時に第二期認定に向けて手続き等を進める。</li> <li>● 歴史的景観都市協議会総会の開催 平成30年度開催都市が当市のため、代表幹事市との連携をしながら円滑な総会開催に向けて準備をする。</li> <li>● 中部歴史まちづくりサミットの参加 平成30年度は三島市で開催される予定のため、首長のスケジュールを調整して出席の段取りを進めるとともに、中部地区の歴まち認定都市連携事業を一体感を持って広く発信する。</li> </ul>

### II：個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
歴史まちづくり推進	1,320	0	0	0	1,320	100%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	1,320	0	0	0	1,320	100%

平成30年度予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
9	5	9	歴史的資産保存・継承費	197

部局名	教育部
課名	歴史まちづくり課

I：事業概要

施策事業名	民俗文化財
事業目的	市内の有形・無形の民俗文化財を適切に保存し、後世へ正しく伝承する。伝統行事の継承の支援を通じてコミュニティの存続を促進する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●事業の全体計画                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の有形・無形の民俗文化財の適切な保存と後世への伝承</li> </ul> </li> <li>●主な事業内容                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・民俗的価値が高く、地域の生活文化の核として住民を結集する上で重要な役割を果たしてきた犬山祭の車山行事（ユネスコ無形文化遺産・国指定重要無形民俗文化財）を後世へ正しく継承する。また、県指定有形民俗文化財である車山13輛についても文化財保護の立場から現況を把握し、有形・無形の双方併せた保護施策の推進を図る。</li> <li>・尾張三奇祭の1つに数えられる石上祭（市指定無形民俗文化財）の継承と保護施策の推進を図る。また総合調査を実施し、伝承基盤の強化と地域の活性化に繋げる。</li> <li>・市内の各地域で守り伝えられてきた伝統行事（無指定）の継承と保護施策の推進を図る。</li> </ul> </li> <li>●政策等を行うに至った経緯                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・城下町及び旧農村部における人口の高齢化・少子化は、伝統文化の維持継承にも影を落としている。当地域に伝わる民俗文化財（祭り・伝統芸能等）を衰退変容の危機から守ることは、地域振興の観点からも重要であり、適切な保護措置を講ずる必要がある。</li> </ul> </li> <li>●政策等の効果予測                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・後継者の育成、道具の修理新調、記録作成などの保存事業の促進により有形・無形の民俗文化財が保護され、地域振興にも寄与する。</li> </ul> </li> <li>●広域民活                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・「全国山・鉾・屋台保存連合会」「あいち山車まつり日本一協議会」への加入により、広域的な連携による効率的な保存・啓発活動を行っている。</li> </ul> </li> </ul>
事業の目標・計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「犬山祭の車山行事」を後世に正しく継承するため、計画に沿って保存修理事業を適切に行う。（平成30年度は余坂町・名栗町車輪等修理と枝町中幕・赤幕復元新調）</li> <li>・市指定文化財「石上祭」の過去の歴史を紐解き、また、現状をしっかりと記録に残すことで、正しく後世に継承していくため、平成29年度より石上祭総合調査を開始した。2年目の平成30年度においては、前年度に収集した資料や聞き取り調査で把握できたことを整理するとともに、さらに調査を実施した上で、最終年度の報告書の刊行に向けて原稿の執筆を進める。</li> <li>・市内の各地域で守り伝えてきた伝統行事の継承のため、後継者の育成や道具の修理新調などの保存伝承事業を促進する。（平成30年度は、後継者育成25団体、道具修理新調1件の補助を予定）</li> </ul>

II：個別事業内訳

（単位：千円）

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
犬山祭伝承保存	13,347	0	0	12,148	1,199	9%
民俗文化財保護	3,321	0	0	2,826	495	15%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	16,668	0	0	14,974	1,694	10%

平成30年度予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
9	5	9	歴史的資産保存・継承費	197

部局名	教育部
課名	歴史まちづくり課

I：事業概要

施策事業名	伝統的建造物
事業目的	現存する歴史的建造物の修理事業を支援することで、保存を推進する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 全体計画 伝統的建造物の修理補助を行い、歴史的な町並みの保存を図る。</li> <li>● 主な事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・所有者を対象に、文化財保存事業費補助金を交付し保存への支援を行うことで伝統的建造物の減失を食い止め、歴史的な町並みの保存を図り、併せて定住促進を図るため、修理補助の要件に一定期間の居住等を設定している。</li> <li>・伝統的建造物の保存修理に関する専門家による技術指導及び監修を受け、補助事業等における適切な修理方針と監理を担保する。</li> <li>・伝統的建造物保存委員会を開催し、補助事業の内容の審議、伝統的建造物群保存地区への指定について等、歴史的町並みの保存活用について協議をする。</li> <li>・犬山城下町に現存する伝統的建造物の把握を行う。</li> <li>・登録有形文化財建造物所有者等を対象に、定期的な講習会や随時面談等を通して文化財の保存への理解の促進を図る。</li> </ul> </li> </ul>
事業の目標・計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 文化財保存事業費補助金事業の実施 伝統的建造物の保存のため、予定している修理事業(2件)について円滑かつ着実な実施を行う。</li> <li>● 伝統的建造物保存委員会(2回)の開催 伝統的建造物の保存や、城下町の歴史的な町並みを保存していくためどのような修理基準を設定するかなどについて、修理事業の協議を通して検討する。</li> </ul>

II：個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国庫支出金	地方債	その他	一般財源	
伝統的建造物保存	10,994	5,000	0	0	5,994	55%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	10,994	5,000	0	0	5,994	55%

## 平成30年度予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
9	5	9	歴史的資産保存・継承費	197

部局名	教育部
課名	歴史まちづくり課

### I：事業概要

施策事業名	青塚古墳史跡公園
事業目的	県下で2番目の大きさを誇る前方後円墳で、平成14年に史跡の整備を実施。史跡公園として適切に保存・管理し、文化遺産の活用を図りながら、地域交流拠点として、周辺地域住民と連携して管理及び活用を図る。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 全体計画                      青塚古墳史跡公園管理（平成30年度予算 10,070千円）                      S58.2.8 国の史跡に指定（史跡名：国指定史跡青塚古墳、史跡住所：字青塚141外）                      H8～11 史跡公園として整備                      H12.8.5 供用開始、直営による史跡公園活用・管理                      H22.4 史跡公園活用・管理委託 H22.4～H27.6（長期契約）                      H27.7 史跡公園活用・管理委託 H27.7～H32（ﾌﾟﾛｰｶﾞﾙ、長期契約）                      委託先：NPO法人古代瀬波の里・文化遺産ネットワーク                      青塚古墳史跡公園営繕（単年度工事）（H30 2,247千円）</li> <li>● 主な事業内容                      青塚古墳史跡公園管理                      史跡公園活用・管理委託（H30予算 6,999千円）                      学芸員による青塚古墳についてのガイダンスの実施                      普及啓発事業の実施（考古学を楽しく学ぶまぼら講座、夏休み子ども体験事業を実施する）                      地域（市外含む）と密着した自主事業「瀬波史学座」の開催                      青塚古墳史跡公園営繕（経年劣化による施設修繕工事）                      展示ライト工事（予算 1,491千円）、自動ドア取替工事（予算 756千円）</li> <li>● 広域民活                      特定非営利活動法人に施設管理業務を委託（H22～長期契約）することで、経費削減に努めている。</li> </ul>
事業の 目標・計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 適切な施設管理                      継続してNPO法人古代瀬波の里・文化遺産ネットワークに委託予定であり、経費削減に努める。</li> <li>● 施設の修理工事                      H12年供用開始から18年間経過しており、経年劣化による電灯の交換等の修繕を実施する。</li> <li>● 普及啓発活動                      県下で2番目の大きさを誇る前方後円墳であり、現在地域住民の交流拠点として、あるいは様々な野外教育の場として広く活用されている。今後も市民を対象とした普及啓発事業や、犬山市内の小中学校で必ず訪れる史跡として授業に取り入れる等の事業を進めていく。</li> </ul>

### II：個別事業内訳

（単位：千円）

事業名	予算額	財源内訳				一般財源 の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
青塚古墳史跡公園管理	10,070	0	0	7,545	2,525	25%
青塚古墳史跡公園営繕	2,247	0	0	0	2,247	100%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	12,317	0	0	7,545	4,772	39%

## 平成30年度予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
9	5	9	歴史的資産保存・継承費	197

部局名	教育部
課名	歴史まちづくり課

### I：事業概要

施策事業名	東之宮古墳				
事業目的	史跡東之宮古墳の恒久的な保存と、これまで実施した調査成果等を活かした活用を図るため史跡整備を行う。				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全体計画                             <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・史跡東之宮古墳整備事業</li> <li>史跡東之宮古墳整備工事施工監理等</li> <li>史跡東之宮古墳ARシステム開発</li> <li>史跡東之宮古墳整備工事</li> <li>史跡東之宮古墳保存活用計画策定</li> <li>・史跡東之宮古墳普及啓発事業</li> <li>・市民参加による墳丘修復事業</li> </ul> </td> <td style="width: 50%; border: none;">                             計画年度                              平成22年度～平成32年度                              平成29年度～平成32年度                              平成31年度～平成32年度                              平成28年度～平成32年度                              平成29年度                              平成26年度～                              平成33年度～                         </td> </tr> </table> </li> <li>●主な事業内容                             <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・史跡東之宮古墳整備事業</li> <li>史跡東之宮古墳整備工事施工監理等</li> <li>史跡東之宮古墳整備工事</li> </ul> </td> <td style="width: 50%; border: none;">                             内訳                              4,504千円                              80,255千円                         </td> </tr> </table> </li> <li>・史跡東之宮古墳普及啓発事業 301千円</li> <li>●その他                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業実施に至った経緯 平成12年度の青塚古墳史跡公園の供用開始の後に、史跡東之宮古墳の恒久的な保存や活用を目的とした史跡東之宮古墳整備事業を実施することが政策判断され、平成14年度より事業に着手している。これまで、史跡整備工事に向けた整備基本計画、基本設計、実施設計が完了しており、工事の一部に着手している。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・史跡東之宮古墳整備事業</li> <li>史跡東之宮古墳整備工事施工監理等</li> <li>史跡東之宮古墳ARシステム開発</li> <li>史跡東之宮古墳整備工事</li> <li>史跡東之宮古墳保存活用計画策定</li> <li>・史跡東之宮古墳普及啓発事業</li> <li>・市民参加による墳丘修復事業</li> </ul>	計画年度 平成22年度～平成32年度 平成29年度～平成32年度 平成31年度～平成32年度 平成28年度～平成32年度 平成29年度 平成26年度～ 平成33年度～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・史跡東之宮古墳整備事業</li> <li>史跡東之宮古墳整備工事施工監理等</li> <li>史跡東之宮古墳整備工事</li> </ul>	内訳 4,504千円 80,255千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>・史跡東之宮古墳整備事業</li> <li>史跡東之宮古墳整備工事施工監理等</li> <li>史跡東之宮古墳ARシステム開発</li> <li>史跡東之宮古墳整備工事</li> <li>史跡東之宮古墳保存活用計画策定</li> <li>・史跡東之宮古墳普及啓発事業</li> <li>・市民参加による墳丘修復事業</li> </ul>	計画年度 平成22年度～平成32年度 平成29年度～平成32年度 平成31年度～平成32年度 平成28年度～平成32年度 平成29年度 平成26年度～ 平成33年度～				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・史跡東之宮古墳整備事業</li> <li>史跡東之宮古墳整備工事施工監理等</li> <li>史跡東之宮古墳整備工事</li> </ul>	内訳 4,504千円 80,255千円				
事業の目標・計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 事業の目標 史跡東之宮古墳の恒久的な保存及び活用を行うために史跡整備を行い、東之宮古墳だけでなく周辺の歴史、自然、観光資源とを一体となってPRを行い、犬山遊園駅周辺地域の活性化を図る。</li> <li>■ 事業の計画 史跡東之宮古墳整備工事を進め、平成30年度には東之宮古墳の修復事業、進入路工事を進める。</li> </ul>				

### II：個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
東之宮古墳一般事務	1,277	309	0	58	910	71%
東之宮古墳整備	84,912	37,607	38,300	565	8,440	10%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	86,189	37,916	38,300	623	9,350	11%

## 平成30年度予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
9	5	10	伝統文化施設費	199

部局名	教育部
課名	歴史まちづくり課

### I：事業概要

施策事業名	文化史料館
事業目的	犬山の歴史資料等の収集・保管・調査を推進するとともに、犬山城と城下町の歴史文化の紹介を行うガイダンス施設として、市民・観光客の文化財に対する理解を促進し、城下町の賑わいを創出する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●文化史料館管理</li> <li>○全体計画                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内文化財に関する調査・研究を実施し、年数回開催する企画展や別館でのからくり人形の実演により、犬山の歴史文化を市内外に発信する。</li> <li>・「城と城下町のガイダンス施設」という役割のもと、本館展示の犬山城下町のジオラマにより、来館者の犬山城及び城下町への興味を喚起し、町歩きへと誘う。</li> </ul> </li> <li>○主な事業内容                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内文化財の調査研究</li> <li>・文化史料館の企画展やワークショップを通じた犬山の歴史文化の発信</li> </ul> </li> <li>●文化史料館南館整備</li> <li>○全体計画                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度～平成31年度 文化史料館南館整備事業</li> </ul> </li> <li>○主な事業内容                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度 実施設計</li> <li>・平成31年度 施工・オープン</li> </ul> </li> <li>●文化史料館特別展</li> <li>○全体計画                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・明治150周年を迎える平成30年度に合わせて、明治期の犬山焼をテーマにした企画展と明治元年の犬山藩成立から現在までの犬山の移り変わりをテーマにした企画展を開催する。</li> </ul> </li> <li>●広域民活                             <ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理者制度の導入については、資料の調査・管理など、職員に求められる能力は特殊であるが、南館オープン後の運営手法を視野に入れて検討を進める。</li> </ul> </li> </ul>
事業の目標・計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化史料館では、引き続きリピーターを増やすための企画に取り組んでいく。来館者へのサービスを充実させるとともに、博物館職員対象の研修等には積極的に参加し、職員の能力向上も図っていく。</li> <li>・平成29年度から着手している文化史料館南館整備事業は、平成29年度に策定した基本設計を基に、平成31年度の施工・オープンに向けて、実施設計を策定し、受託業者や関係団体等との調整を図る。</li> <li>・史料館の特別展としては、平成30年度は明治150周年という節目の年であり、犬山藩成立150周年という年でもあるため、犬山の歴史や発展の道りを多くの市民に伝えられるような展示を企画しPRする。</li> </ul>

### II：個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
文化史料館管理	28,017	0	0	23,118	4,899	17%
文化史料館南館整備	9,602	0	0	4,540	5,062	53%
文化史料館特別展	376	0	0	0	376	100%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	37,995	0	0	27,658	10,337	27%

平成30年度予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
9	5	10	伝統文化施設費	199

部局名	教育部
課名	歴史まちづくり課

I：事業概要

施策事業名	中本町まちづくり拠点施設
事業目的	住民によるまちづくり活動の拠点として活用し、多世代交流を促進する。また、犬山祭の車山や関連資料を適切に保管・展示公開することにより、犬山城下町の伝統文化の魅力を外へ発信する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●事業の全体計画                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティ団体及びまちづくり団体の活動支援</li> <li>・犬山祭に使用する車山や犬山に伝わる資料の保管と展示公開</li> </ul> </li> <li>●主な事業内容                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・展示ホールにて犬山祭の車山4輦を展示し、光と音の演出で祭り当日の雰囲気再現する。展示室では犬山祭・城下町の映像と関連資料の展示により犬山の魅力を発信する。</li> </ul> </li> <li>●政策等を行うに至った経緯                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成12年度の開館以来、まちづくり活動の拠点として、また犬山祭の車山13輦のうち4輦を収蔵・展示する施設として、地域住民に管理を委託して運営を行っている。</li> </ul> </li> <li>●政策等の効果予測                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民のまちづくり活動を促進するとともに、犬山城や城下の他の施設との連携を図り、相乗効果による地域の賑わいを創出する。</li> </ul> </li> <li>●広域民活                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・開館当初より施設管理を地元中本町町内会に委託しており、予算削減に努めている。</li> </ul> </li> </ul>
事業の目標・計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1四半期に消防設備の追加工事を実施する。</li> <li>・開館当初より施設管理を地元中本町町内会に委託しており、予算削減に努めている。平成30年度も委託継続予定である。</li> <li>・犬山祭に使用する車山や犬山に伝わる資料の適切な保管と展示公開を実施し、犬山の魅力を内外に発信して地域の賑わいを創出する。</li> <li>・施設内のスペース提供により、コミュニティ団体及びまちづくり団体の活動支援を継続して実施する。</li> </ul>

II：個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国庫支出金	地方債	その他	一般財源	
中本町まちづくり拠点施設管理	8,151	0	0	5,101	3,050	37%
中本町まちづくり拠点施設営繕	209	0	0	0	209	100%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	8,360	0	0	5,101	3,259	39%



## 平成30年度予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
9	5	10	伝統文化施設費	199

部局名	教育部
課名	歴史まちづくり課

### I：事業概要

施策事業名	旧堀部家住宅
事業目的	登録有形文化財である旧堀部家住宅を適切に保存するとともに、建物の利活用を推進する。市民参画による運営を支援し、城下町南地区の賑わいの創出を図る。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●事業の全体計画                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成22年、23年、25年 修理工事を実施</li> <li>・平成24年～26年 使用許可による試行的使用の開始</li> <li>・平成27年～ 一般公募による提案審査により運営者を選定</li> <li>・平成28年～ 未整備部分で損傷の激しい箇所部分補修</li> <li>・平成29年 運営者の選定第2期（第1期の検証と第2期の貸付条件の検討）</li> <li>・平成30年、31年 崩落の恐れのある土壁の修繕工事を冬の閑散期に行う</li> </ul> </li> <li>●主な事業内容                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の適切な維持管理。</li> <li>・平成30年、31年度の修繕（崩落の恐れのある土壁の修繕）</li> </ul> </li> <li>●政策の経緯                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・取り壊し計画に反対する地域住民の保存要望により住宅を購入し市有化。</li> <li>・城下町に唯一のこる武家の面影が残る住宅として整備活用を計画。</li> </ul> </li> <li>●広域民活                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民参画による運営を基本とし、運営者は一般公募による提案審査により選定。</li> <li>・民間の柔軟な発想に基づく施設運営、企画を実施する。</li> </ul> </li> </ul>
事業の目標・計画	<p>使用者選定委員会により選定された民間事業者との有料賃貸借契約が第2期目をむかえる。民間事業者には、土地・建物の管理と柔軟な発想に基づいた活用により行政では実現できない事業を展開してもらう。</p> <p>市は、所有者として建物の適切な使用を促すために助言と指導を行うとともに事業展開の援助を行う。また、建物を安全に活用してもらうため、崩落の危険性を指摘された主屋の土壁を2か年で修繕する。H30年度は、冬期の閑散期に既設壁を解体し、貫、小舞部分を新設。荒壁塗とその乾燥までを行う。H31年度は、H30年度の荒壁部分の仕上塗りをするとともに、玄関部分、2Fの土壁のひび割れ等の補修と仕上塗りを行う。</p>

### II：個別事業内訳

（単位：千円）

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
旧堀部家住宅管理	673	0	0	362	311	46%
旧堀部家住宅営繕	3,614	0	0	2,852	762	21%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	4,287	0	0	3,214	1,073	25%

平成30年度予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
9	5	10	伝統文化施設費	199

部局名	教育部
課名	歴史まちづくり課

I：事業概要

施策事業名	旧磯部家住宅復原施設
事業目的	登録有形文化財「旧磯部家住宅」を適切に維持管理・公開し、犬山の町家文化に関する情報発信を行う。町屋まちづくり拠点施設として多世代交流を促進する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●事業の全体計画                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・犬山市が目指す「歴史を活かしたまちづくり」を推進するため、登録有形文化財である旧磯部家住宅を適切に維持管理し、一般公開する。来館者に犬山の伝統的な町家の雰囲気に触れてもらうと同時に、城下町への町歩きを促す。</li> </ul> </li> <li>●主な事業内容                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・犬山の町屋文化の伝承及び町家文化に係る資料の展示</li> <li>・コミュニティ団体及びまちづくり団体の活動支援</li> </ul> </li> <li>●政策等の効果予測                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の歴史資産を保存活用することにより、住民の郷土への愛着を育み、地域活性化へとつなげる効果が期待できる。</li> </ul> </li> <li>●他の自治体の類似する政策等との比較検討の結果                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・各自治体において文化遺産を地域活性化に活かす取り組みが進められ、歴史的建造物の保存活用が推進されている。</li> </ul> </li> <li>●広域民活                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・開館当初より施設管理を「特定非営利活動法人 犬山城下町を守る会」に委託しており、予算削減に努めている。</li> </ul> </li> </ul>
事業の目標・計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・隣家取り壊しにより土壁が剥き出しになり躯体への影響が懸念されるため渡り廊北側の保存修繕を行う。また、土蔵外壁の漆喰に欠落部位があるため補修を行う。</li> <li>・スプリンクラーノズルが錆による目詰まりを起こし緊急時に動作しない恐れがあるため補修する。</li> <li>・施設管理を「特定非営利活動法人 犬山城下町を守る会」に委託し、建物を適切に維持管理し予算削減に努める。</li> <li>・町家文化に関する情報発信を行うとともに、旧磯部家住宅運営委員会と協力し各種イベントを開催し、町屋まちづくり拠点施設としての役割を担っていく。</li> <li>・貸室は年々利用者が増加しているが、引き続き幅広い使用を促進し地域活性化に貢献していく。</li> </ul>

II：個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国庫支出金	地方債	その他	一般財源	
旧磯部家住宅復原施設管理	4,106	0	0	3,156	950	23%
旧磯部家住宅復原施設営繕	1,275	0	0	956	319	25%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	5,381	0	0	4,112	1,269	24%

平成30年度予算説明書

特別会計名	予算書(P)
犬山城費特別会計	270

部局名	教育部
課名	歴史まちづくり課

I：事業概要

施策事業名	一般管理
事業目的	公益財団法人犬山城白帝文庫が所有し、犬山市が管理する国宝犬山城天守及び附帯する土地について、適切に保存、管理を図る。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 全体計画 犬山城の日常管理等の推進</li> <li>● 事業内容 犬山城の適切な日常管理を推進し、来場者に対応するため、下記業務を実施。 犬山城管理委員会の開催 管理運営業務の実施 城郭内環境整備のための工事等の実施（樹木剪定、城郭内修繕、案内板整備等の実施） 入場登閣券、入場者用パンフレット等の印刷</li> <li>● 政策等の効果予測 年間50万人超が来場する犬山城の管理運営を安全かつ円滑に実施できる。</li> </ul>
事業の 目標・計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 適切な運営業務 管理運営業務、各設備保守点検業務等を円滑に行い、施設の運営及び安全管理を適切に行う。</li> <li>● 工事及び修繕 き損・劣化した部分の修繕及び工事を着実に施工して、適切な施設設備の維持を行う。</li> <li>● 樹木伐採管理 城山の樹木について、専門家の意見を参考にしながら管理及び保存活用の視点から支障となるものを伐採する。</li> </ul>

II：個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源 の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
一般管理	159,717	0	0	0	159,717	100%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	159,717	0	0	0	159,717	100%

## 平成30年度予算説明書

特別会計名	予算書(P)
犬山城費特別会計	272

部局名	教育部
課名	歴史まちづくり課

### I：事業概要

施策事業名	犬山城調査・整備
事業目的	犬山城天守を適切に管理し、管理団体として国宝を恒久的に保存する責務を果たす。また、残存する城郭の遺跡等の調査を進め犬山城の歴史的価値を明確にし、保存・活用を推進するとともに、内外への情報を発信し周知を図る。
事業内容	<p>●事業の全体計画</p> <p>○犬山城天守及び城郭内遺構に関する調査の推進、調査結果等の普及啓発活動の実施</p> <p>○犬山城天守修理の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成24年度～平成29年度 天守修理に向けた準備計画（耐震診断、修理基本計画策定）</li> <li>・平成30年度～平成31年度 天守保存修理工事実施（国庫補助事業 補助率1/2）</li> </ul> <p>○犬山城天守等の保存活用計画策定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度～平成31年度 天守保存活用計画策定（国庫補助事業 補助率1/2）</li> <li>・平成31年度～平成32年度 史跡保存活用計画策定（国庫補助事業 補助率1/2）</li> </ul> <p>●主な事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・犬山城の継続的調査を実施し、専門家の助言を得ながら犬山城関連遺構の恒久的な保存、整備及び活用についての検討を推進する。</li> <li>・国宝犬山城天守の恒久的保存に向け、専門家の助言を得ながら修理工事を行う。また、保存・活用について検討を推進する。</li> </ul> <p>●政策等の効果予測</p> <p>調査に基づき適切な時期と内容による整備を実施することで、国宝及び史跡を恒久的に保存することができ、内外に向けた日本固有の伝統文化の発信に繋がる。</p> <p>●他団体との比較</p> <p>国宝天守を有する松本市、松江市と共に「近世城郭群世界遺産登録推進会議準備会」を発足し、調査研究等における情報交換や世界文化遺産登録に向けた国宝天守の魅力発信を推進している。</p>
事業の目標・計画	<p>●犬山城天守修理</p> <p>昭和の大修理から50年以上が経過し経年劣化が見られる国宝天守について、恒久的保存を図るための修理工事に着手する。</p> <p style="padding-left: 20px;">実施内容：実施設計、耐震補強工事、階段補修工事</p> <p>●犬山城天守等保存活用計画策定</p> <p>○天守の恒久的な保存活用推進の指針とするため「犬山城天守保存活用計画」の策定に着手する。</p> <p style="padding-left: 20px;">実施内容：現地調査、計画概要まとめ</p> <p>○犬山城城郭の恒久的な保存活用計画作成の基礎資料とするための各種調査の実施。</p> <p style="padding-left: 20px;">実施内容：石垣詳細調査、犬山城眺望調査</p>

### II：個別事業内訳

（単位：千円）

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国庫支出金	地方債	その他	一般財源	
調査・整備	71,063	23,957	0	47,106	0	0%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	71,063	23,957	0	47,106	0	0%